

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気			機械				備考			
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排水	給湯		洗面器		
共通事項			<p>【一般共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広がりや明るさを感じさせる空間とし、圧迫感のない、空間・色彩・照明計画とすること。 ・採光窓については、自然光が公式競技や興行等利用時の妨げとならないよう、遮光装置（電動）を設けること。 ・遮光装置は、湿気に強い製品とすること。 ・遮音、吸音を考慮すること。 ・内外問わず、窓には全てカーテン、ブラインド又はロールスクリーンを設けること。 ・ドライゾーンとウェットゾーンを明確に区分したゾーニングとすること。 ・水温調整については「プール公認規則」に従い、各競技に適した温度設定が可能とすること。 ・室温についてはプール全体の温度分布に留意し、観客席と競技床面それぞれに快適な温度分布を維持する空調システムとすること。 ・高機能循環ろ過装置（オゾン浄化装置、紫外線殺菌装置、中空糸膜装置等の高度処理装置を併設したもの）を設置すること。 ・可動床等は動作状況を確認しながら操作できるようにすること。 ・大型表示装置1面を50mプール用に設置すること。スクリーンサイズは、最低横32文字、縦12行を表示するものとし、文字高は360mm以上とすること。選手、観客から見やすい位置に設置すること。 ・大型表示装置は3in1フルカラーLED（画素ピッチ:10mm以下）とし、リザルト表示システム（時計・計測システム）と連動すること。 ・大型表示装置はプールからの湿気や塩素を考慮した製品とし、表示面はIP65（防水規格）をクリアした防水仕様とすること。 ・音響対策に十分に配慮し、残響が少なく明瞭度の高い音響計画とすること。 <p>【大規模な公式大会を想定した対応事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・障スポ等の大規模な公式大会時の選手入場動線を考慮すること。 ・施設要領に定める競技用具のうち、自動審判計時装置等の設備備品の配線等の工事を伴うものは、配線ルート等を埋設で計画すること。 ・計時計測設備及び大型映像装置と連動した館内共聴設備を設置すること。 ・国旗等を掲揚するため、速度可変式昇降装置付きフラッグパトンを設置すること。 																			
		50mプール	<ul style="list-style-type: none"> ・レーン数は10レーンとし「公認規則」による公称50m国際基準競泳プールとすること。 ・分割して25mプールとして利用する際、片面を「公称25m国内基準競泳プール」、片面を「公称25m国際基準競泳プール」の公認が取得可能な施設とすること。 ・「プール公認規則」による国際基準水球プール・国内基準公認アーティスティックスイミングプールの公認を取得すること。 ・大会や練習等で使用しない時には県民利用を想定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 50m以上 ・幅 : 25m以上 ・最大水深 : 3.0m ・レーン数 : 10レーン ・レーン幅 : 2.50m <p>・一般利用と競技利用を両立するプールとするため、プールを分割利用するための可動壁装置を設置し、分割した25mプールそれぞれが独立で水深の調整が可能な可動床（水深0m程度～3.0m、駆動部は含まない）を備えること。（「別紙5-4 可動壁・可動床の計画資料」を一例として参照すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタート台とタッチ板（取り外し式、両端壁に設置）を設置すること。 ・各種競技の他、想定される一般利用の形態に合わせて水深調整があらかじめ設定されたプリセットパターンを用意し、ボタン操作により利用に合わせた変更操作が容易なものとする。 ・身体障がい者や高齢者等が、利用しやすい計画（入水に配慮した移動式の階段の整備等）とすること。 ・照明は利用形態に合せたパターン点灯が可能なものとする。 ・プールサイドに視認性の高い水深表示装置を設置すること。 ・露出する場合の天井の梁等の形状、照明器具等の配列等をレーン方向に平行とする等、選手の心理的側面にも十分に配慮した計画とすること。 ・選手や観客に対するグレア等の支障が生じないように、遮光ブラインド等を設置すること。 ・競技者の水中での動作を確認できるよう、泳法確認用水中窓やカメラ等を設けること。 ・移動式のカメラを設置し、メインプールの水中・水上を撮影できるようにするとともに、選手が泳いだ後にその場で映像を確認できる移動式のモニターを設けること。また、移動式のカメラで撮影した映像は、映像分析装置で分析可能なものとする。なお、移動式のカメラは、水中・水上で高さ調整が出来るとともに、飛込プール、サブプール等でも利用可能なこと。 	2785㎡	提案	C	提案	提案	提案	提案	提案	水面 上1m で 600L X ※た だ し、 テレ ビ映 像撮 影時 は 2500 LX	○	○	○	○	○	○	○	提案	遮光、循環ろ過装置、可動床等、大型表示装置

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気				機械			備考				
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排水	給湯		洗面器			
メイン プール ゾーン	1	飛込プール	<ul style="list-style-type: none"> 飛込プールにおいて「公認規則」による国際基準飛込プールの公認を取得すること。 大会や練習等で使用しない時には県民利用を想定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 飛込競技の国内大会時の競技会場として機能することを主とし、競技者の練習場としても機能すること。空き時間には県民の一般利用のプールとしても活用すること。 25m×22mのプールとし、一般利用と競技利用を両立するプールとするため、可動床（水深0m程度～5.0m、駆動部は含まない）を備えること。 想定される利用形態に合わせた水深調整があらかじめ設定されたプリセットパターンを用意し、ボタン操作一つで容易に水深の変更操作を行えるものとし、かつ10cm単位程度で調整を行えるものとする。 水深が5m未満の時には飛込台に人が物理的に入れないように入口が自動施錠する等、安全面に十分配慮すること。 飛込台は10m（幅3m以上、長さ6m以上）、7.5m（幅2m以上、長さ6m以上）、5m（幅2.9m以上、長さ6m以上）、3m（練習用）、1m（練習用）を整備すること。なお、シンクロナイズドダイビングも実施できること。 飛板は3m×3個以上、1m×4個以上（取り外し可能な可動式とすること）を設置すること。 併せて、「別紙5-5 飛込台・飛板レイアウトについて」を確認すること。 水面の視認性を確保するために、波立て装置を設置すること。 競技者の水中での動作を確認できるよう、泳法確認用水中窓やカメラ等を設置すること。 飛込台の後方でなるべくプールに近い場所に採暖浴槽（ジャグジー）を設けること。 	1500㎡	提案		C	提案	提案	提案	提案	提案	水面 上1m で 1500 LX ※た だし、 テレビ 映像 撮影 時は 2500 LX	○	○	○	○	○	○	提案	遮光、循環ろ過装置、可動床等	
		プールサイド	<ul style="list-style-type: none"> 大会役員席や競技指導を行う場所としても使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> プールサイドは直線とし、50mプールの長辺方向の幅は9m以上、50mプールと飛込みプールの間を10m以上とする。そのほかは6m以上とし、複数の競技が円滑に行える動線を確保すること。 床暖房設備を設置すること。 適切な水勾配を確保し、耐水性があり、滑り転倒防止に留意した防滑性を有するプール用セラミックタイルを使用すること。 プールサイドの床下は配管が容易に点検しやすい構造形式とすること。 	50m・飛込各プールに含む	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	500	○	○	○	○	○	○	○	提案		
		採暖室	<ul style="list-style-type: none"> 主に50m・飛込プール利用者や一般利用者の身体を短時間で温めるために整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 50mプール、飛込プールから利用しやすい位置に設置すること。 床仕上げ、排水方法、暖房方式、換気方法等に配慮し、水たまりができないようにすること。 ガラス窓を設ける等明るく開放的な空間とすること。 利用状況に応じ、適切な温度設定とすること。 	15名以上が着席可能	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	○	○	提案	
		倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫として利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「別紙6 プール備品リスト」、「別紙7 プール電気備品リスト」に示す備品等を余裕を持って収納できるスペースを確保すること。 プール備品を収納する器具庫をメインプールのプールサイドから利用しやすい位置に設置すること。 プールサイドに器具等を置くことのないよう、十分な広さを確保するとともに、空間を有効利用するため、収納棚を配置すること。 大型器具の搬入や外部からの器具等の搬入に配慮すること。 換気を十分に行い、壁面の結露や床面の水たまりができないように配慮すること。 利用者が安易に立ち入ることのないように配慮すること。 	490㎡、ただし左記の特記事項の通り、備品を余裕を持って収納できるスペースを確保すること	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
		25mプール	<ul style="list-style-type: none"> 県民の一般利用を主とし、また競泳の国内大会時には50mプールの練習施設としても使用する。 「公認規則」による公称25m国内基準競泳プール、公認8レーン以上の公認を取得すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ : 25m以上 幅 : 22m以上 最大水深 : 2.0m以上 レーン数 : 10レーン レーン幅 : 2.00m以上 スタート台とタッチ板（取り外し式、両端壁に設置）を設置すること。 身体障がい者や高齢者等が、利用しやすい計画とすること。 身体障がい者や高齢者等の入水に配慮したスロープ等の設備を設置すること。 照明は、利用形態に合せたパターン点灯が可能なものとする。 プールサイドに視認性の高い水深表示装置を設置すること。 25mプール全体を見渡せるギャラリーを設け、いす、ベンチ等を適宜設けること。 競技の練習に対するグレア等の支障が生じないように遮光ブラインド等を設置すること。 水深0m～2.0mに変更可能な可動床を設置すること。なお、想定される利用形態に合わせた水深調整があらかじめ設定されたプリセットパターンを用意し、ボタン操作一つで容易に水深の変更操作を行えるものとし、かつ10cm単位程度で調整を行えるものとする。 	1240㎡	提案		C	提案	提案	提案	提案	水面 上1m で 1500 LX	○	○	○	○	○	○	○	提案	遮光、循環ろ過装置	

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気				機械			備考	
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排 水	給湯		洗面 器
サブ プール ゾーン	1	プールサイド	・大会役員席や競技指導を行う場所としても使用する。	・プールサイドの有効幅はスタート台側4m以上、そのほかは2m以上とすること。 ・床暖房設備を設置すること。 ・適切な水勾配を確保し、耐水性があり、滑り転倒防止に留意した防滑性を有するプール用セラミックタイルを使用すること。 ・プールサイドの床下は配管が容易に点検しやすい構造形式とすること。	25mプール に含む	提案	提案	提案	提案	提案	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
		監視室	・プールの安全管理、監視、事故防止のための監視指導員のための室として使用する。	・25mプールサイドに面した位置に設け、プールサイド側にガラス窓と出入口を設けること。 ・プール全体の見通しを確保し、利用者にとって判りやすい位置とすること。 ・可動床制御装置、プールの照明等、各設備機器の副制御装置を設置すること。	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
		採暖室	・主に25mプール利用者や一般利用者の身体を短時間で温めるために整備する。	・25mプールから利用しやすい位置に設置すること。 ・床仕上げ、排水方法、暖房方式、換気方法等に配慮し、水たまりができないようにすること。 ・ガラス窓を設ける等明るく開放的な空間とすること。 ・利用状況に応じ、適切な温度設定とすること。	10名以上が 着席可能	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	○	○	提案	
		倉庫	・倉庫として利用する。	・「別紙6 プール備品リスト」、「別紙7 プール電気備品リスト」に示す備品等を余裕を持って収納できるスペースを確保すること。 ・プール備品を収納する器具庫をサブプールのプールサイドから利用しやすい位置に設置すること。 ・プールサイドに器具等を置くことのないよう、十分な広さを確保するとともに、空間を有効利用するため、収納棚を配置すること。 ・大型器具の搬入や外部からの器具等の搬入に配慮すること。 ・換気を十分に行い、壁面の結露や床面の水たまりができないように配慮すること。 ・利用者が安易に立ち入ることのないように配慮すること。	50㎡、ただし左記の特記事項の通り、備品を余裕を持って収納できるスペースを確保すること	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
更衣 ゾーン	1	選手更衣室	・大会時に選手用の更衣室としても機能すること。 ・大会時以外は一般利用者が利用できる更衣室としても機能すること。	・男女別とし、外部から見通せない構造とすること。 ・洗面カウンター、独立した更衣ブース、上がり用シャワーブース、トイレを設置すること。特に女性用の更衣室はパウダールームを設置すること。 ・ロッカーはスプリング付きヒンジなどで自動閉扉するものとする。 ・洗面台、水飲み設備、トイレ等の必要な機能を備えること。 ・ドライヤー、水着脱水機等を適所に備えること。 ・衣類、履物の着脱のため、適所にベンチを設置すること。 ・男女別で更衣室からメインプール・サブプールの両方への動線を確保すること。 ・ウェットゾーン側に前室を設け、ドライゾーンと明確に区分すること。 ・床面をドライに保つことができる機能を備えること。	ロッカー 150個以上	提案	C	提案	提案	EP-G	○	提案	○	○	○	○	○	○	○	
		一般更衣室	・プール利用者のための更衣室として機能すること。	・男女別とし、外部から見通せない構造とすること。 ・洗面カウンター、独立した更衣ブース、上がり用シャワーブース、トイレを設置すること。特に女性用の更衣室はパウダールームを設置すること。 ・ロッカーはスプリング付きヒンジなどで自動閉扉するものとする。 ・洗面台、水飲み設備、トイレ等の必要な機能を備えること。 ・ドライヤー、水着脱水機等を適所に備えること。 ・衣類、履物の着脱のため、適所にベンチを設置すること。 ・男女別で更衣室からメインプール・サブプールの両方への動線を確保すること。 ・ウェットゾーン側に前室を設け、ドライゾーンと明確に区分すること。 ・床面をドライに保つことができる機能を備えること	ロッカー 140個以上	提案	C	提案	提案	EP-G	○	提案	○	提案	提案	○	○	○	○	
		多目的更衣室	・誰もが利用しやすい更衣室として機能すること。	・誰もが利用しやすい更衣室を独立して2室以上設けること。 ・シャワー、洗面台、ドライヤーを設置すること。 ・多目的トイレを2か所以上に設けること。 ・プールへの動線には段差がないようにすること。 ・衣類、履物の着脱のため、適所にベンチを設置すること。 ・ウェットゾーン側に前室を設け、ドライゾーンと明確に区分すること。 ・衣類、履物の着脱のため、ロッカーの間隔やベンチの配置を考慮して適所に配置すること。	提案	提案	C	提案	提案	EP-G	○	提案	○	提案	提案	○	○	○	○	

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気				機械			備考	
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排 水	給湯		洗面 器
機能向上ゾーン	1	ドライランド	・飛込競技における技やフォームの効率的・効率的な習得や、水中練習前のウォーミングアップ、練習後のストレッチ等のために整備する。	・飛込競技の陸上でのトレーニングを行うための、スパッティング付の飛板もしくはトランポリン、ソフトマット付の飛板と飛込台の練習台を設置すること。 ・必要機器及び機器レイアウトについては、「別紙5-6 ドライランドレイアウトについて」を参照し、それに記載された深さ寸法を確保したピットを設けること。 ・飛板、トランポリン等の天端から、天井、梁、照明器具等最下端までの有効天井高さを6m以上確保すること。	250㎡	6.0	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	○	○	○	提案	提案	提案	遮光
		機能分析室	・水泳のトレーニング・指導に必要な測定・分析を行う。	・可搬式カメラによる泳法解析装置等水泳のトレーニング・指導に必要な、測定・分析のための機器を設置すること。 ・メインプールに近接し、利用者が利用しやすい位置に設けること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案
選手利用ゾーン	1	選手招集所	・競技前の招集室として使用する。 ・大会時・平時にトレーニング器具を用いてウォーミングアップを行える室として機能すること。 ・待機する選手数を必要数想定すること。	・大会時に、コース数分の選手が一列に着席できるようにするため、100㎡以上の面積を確保すること。 ・スイムベンチ、フィットネスバイク等水泳のトレーニングに必要な機器を設置すること。 ・プールサイドに面し、大会時に選手がスタート位置に円滑に移動できるように、プールサイド側に開口部を設けつつ、平時には必要に応じて開口部を閉ざすことができる設えとすること。	100㎡	提案	C	提案	提案	提案	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
		報道関係者室	・大会時には記者が控え、作業できる室として機能すること。 ・通常は会議室等として使用する。	・プールサイドに面した位置に設け、プールサイド側にガラス窓を設けること。 ・大会時等に記者が控え、作業できるスペースを確保すること。 ・大会時等は臨時の電話回線、インターネット回線および電源が利用できるようにすること。	100㎡	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
		コーチ室	・競技中のコーチ待機室として使用する。 ・通常は会議室等として使用する。	・コーチがプールサイドに円滑に移動できる位置に配置し、プールサイド側にガラス窓を設けること。	15名程度	提案	C	提案	提案	提案	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
		競技役員控室1	・大会時には競技役員、大会役員が控え、観覧する室として使用する。 ・通常は会議室等として利用する。	・大会時は競技役員控室として、大会時以外は研修室として利用できるよう、移動間仕切等によりフレキシブルな空間とすること。なお、分割利用時の空調および照明の配置や個別スイッチ等についても配慮すること。 ・研修のためのAV設備等を設置すること。	150名程度	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
		冷温交代浴室	・選手または利用者が交代浴利用する室とする。	・メインプールゾーン、サブプールゾーンの両方から使いやすい位置に設けること。 ・冷温交代浴施設及びシャワーを設けること。	15名	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	○	○	提案	
	1	審判室	・審判専用の更衣室、控室として使用する。	・プールに近接し、一般観客及び報道関係者から隔離されている場所に計画すること。 ・選手用更衣室と動線上接触しないこと。 ・審判室、記録室、放送室、競技本部を近接して配置すること。 ・プールサイドに直結する出入口を設けることとし、審判の更衣室、控室として機能するよう、ロッカー、椅子、テーブル、ホワイトボードを設置すること。 ・プールサイドへの動線に配慮すること。 ・シャワールーム、洗面台、トイレ等を整備すること。	提案	提案	C	VS	DR	EP-G	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
	1	放送室	・大会時に大型表示装置を操作する室として機能すること。	・プールサイドに直結する出入口を設けることとし、プール、スタート台、タッチ板および大型映像装置の画面を容易に確認できる位置とすること。 ・プールサイドに直結する出入口を設けることとし、プールサイド側にガラス窓を設置すること。 ・機器および十分な操作スペースを確保するとともに、プール室内を目視しながら操作できる位置に機器を配置すること。 ・プールサイドに設ける仮設の放送・記録スペースと容易に器具を接続できる構造とすること。	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	遮光
	1	記録室	・競技判定及びタイムを記録する室として機能すること。	・競技の全容が把握しやすいように、プール、スタート台、タッチ板および大型映像装置の画面を容易に確認できる位置とすること。 ・プールサイドに直結する出入口を設けることとし、プールサイド側にガラス窓を設置すること。 ・機器および十分な操作スペースを確保するとともに、プール室内を目視しながら操作できる位置に機器を配置すること。 ・プールサイドに設ける仮設の放送・記録スペースと容易に器具を接続できる構造とすること。 ・全自動審判装置を配置すること。	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	遮光
	1	競技本部	・大会運営時の拠点となる室として利用する。	・プールサイドに直結する出入口を設けることとし、プールサイド側にガラス窓を設けること。	100㎡	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気				機械			備考		
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排 水	給湯		洗面 器	
プール 運営 ゾーン	1	来賓・大会役員室	・プールの貴賓室として使用する。 ・通常は一般の応接室等として利用可能な計画とする。	・プールサイドに直結する出入口を設けることとし、プールサイド側にガラス窓を設けること。 ・行幸啓の動線（車列御着位置→貴賓室への御移動）がスムーズに設定できる位置とすること。	130㎡	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	遮光	
	1	監視室	・プールの安全管理、監視、事故防止のための監視指導員のための室として使用する。	・50mプールサイドに面した位置に設け、プールサイド側にガラス窓と出入口を設けること。 ・プール全体の見通しを確保し、利用者にとって判りやすい位置とすること。 ・可動床制御装置、プールの照明等、各設備機器の副制御装置を設置すること。	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案		
	1	医務室兼ドーピング検査室	・医務室や大会時等のドーピング検査のための室として使用する。	・治療台を適宜設置すること。 ・事務室や監視員室との位置関係や、救急車の寄り付き、ストレッチャーの動線等に配慮すること。 ・けが人、急病人等の応急処置を行うため、製氷機や救急薬品等を備えること。 ・利用者が認識しやすい位置とすること。 ・トイレ、ドーピング検査機器スペース及び検査スペースを確保すること。 ・ドーピング検査用トイレは男女区分が可能なものとする。 ・ドーピング検査用の待機スペースを設けること。	提案	提案	提案	提案	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	(○)	(○)	提案		
	1	競技役員控室2	・大会時には大会役員控室として利用できるようにすること。 ・通常は会議室等として使用する。	・大会進行を把握できる映像モニターや弱電設備、電話回線を設置すること。 ・プールサイドに面した位置とし、プールサイド側をガラス張り等により目視が容易に行えること。 ・エントランスホール、管理諸室、プールにアクセスしやすい動線を考慮すること。	提案	提案	提案	提案	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案		
	1	談話室（兼会議室）	・大会時には筆耕室として利用できるようにすること。 ・通常は談話室や会議室等として使用する。	・研修のためのAV設備等を設置すること。 ・平時には、研修室に利用するなど部屋の有効活用に配慮すること。 ・エントランスホール、管理諸室、プールにアクセスしやすい動線を考慮すること。	40㎡	提案	提案	提案	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案		
	1	会議室	・大会時には競技役員控室として利用できるようにすること。 ・通常は会議室等として使用する。	・研修のためのAV設備等を設置すること。 ・平時には、研修室に利用するなど部屋の有効活用に配慮すること。 ・エントランスホール、管理諸室、プールにアクセスしやすい動線を考慮すること。	40㎡	提案	提案	提案	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案		
	1	飛込競技役員室	・大会時には飛込競技役員控室として利用できるようにすること。 ・通常は会議室等として使用する。	・飛込プールに面した位置に設け、プールサイド側にガラス窓を設けること。 ・平時には、研修室に利用するなど部屋の有効活用に配慮すること。 ・エントランスホール、管理諸室、プールにアクセスしやすい動線を考慮すること。	100㎡	提案	提案	提案	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案		
	1	事務室	・本施設の管理運営に必要な事務を行う。 ・受付、案内機能を併設する。	・ロビーに面して、受付カウンターを設置すること。 ・本施設の運営全般の事務業務を行う執務スペースとして、必要なスペースを確保すること。 ・打合せスペース、収納スペース、湯沸室を確保すること。 ・監視設備および全館放送を設けること。 ・移動間仕切り壁により分割利用可能とすること。	160㎡	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
	1	館長室	・館長が定常的に利用する。	・事務室内に設置または事務室に隣接して設けること。	提案	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
	1	応接室	・通常は一般の応接室としての利用を計画すること。 ・大会時は貴賓室としての利用を計画すること。	・来賓・大会役員室との動線に配慮すること。 ・通常時は一般応接室として利用する。 ・トイレ及びトイレ前室を計画すること。 ・事務室・館長室と一体的に活用できるようにすること。	提案	提案	提案	OA	TC	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
1	中央監視室	・設備機器の運転監視、防災監視、機械警備の主装置の制御を行う室として使用する。	・各種設備機器の運転監視を行えるようにすること。 ・本施設内の自動火災報知設備の受信機を設置すること。 ・機械警備設備の主制御装置を設置すること。 ・事務室内に設置または事務室に隣接すること。 ・収納スペース等を確保すること。 ・提案する運営・維持管理体制に対応した、事務室、監視員室等との制御装置の割り当てを行うこと。	提案	提案	提案	OA	TC	DR	EP	○	500	○	○	○	○	○	○	提案		
1	職員休憩室	・職員が使用する。	・本施設への入館・退館時の通用口に近接して設けること。 ・搬出入口への動線に配慮すること。 ・本施設内外に設置する防犯カメラの映像を観ることができるようになること。 ・利用者からの視線に配慮し、職員数に応じた休憩スペースを設置すること。 ・職員数に応じた更衣スペースを男女別に設置すること。	提案	提案	提案	提案	DR	EP	○	500	○	○	○	○	○	○	○	提案		

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気				機械			備考		
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排 水	給湯		洗面 器	
	1	倉庫	・備品等の倉庫として使用する。	<ul style="list-style-type: none"> 「別紙8 什器備品リスト」に示す備品等を余裕を持って収納できるスペースを確保すること。 適宜利用しやすい位置に分割配置してもよい。 保管物品の状態を保つために湿気対策を講じるとともに、出隅部分等はクッション材で防護すること。 機材搬入路との関係や、機器寸法と出入口寸法の関係に配慮すること。 保管物品を適切に管理できるよう、収納ラック等を適宜設けること。 	40㎡、ただし左記の特記事項の通り、備品を余裕を持って収納できるスペースを確保すること	3.5	C	VS	GB-D	EP	提案	200	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案		
エントランス	1	一般トイレ	施設利用者全般が利用できるトイレとする	<ul style="list-style-type: none"> 大会時等の集中利用時においても適切に機能する規模、数を各階に設置すること。特に女性用トイレの混雑に配慮した計画とすること。 ベビーチェアや幼児用トイレを設置する等、乳幼児の利用に配慮すること。 車いす利用者にも配慮した個室の設置について検討すること。 男女トイレ内には各1か所ずつベビーベッドを設けること。 子ども用便座も適宜設置する等、子どもの利用に配慮すること。 その他、高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 手洗いは、自動水栓とすること。 小便器は、個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること。 洋式便座は、擬音装置を備えた温水洗浄装置とすること。 女性トイレには、パウダーコーナーを設けること。 便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 エアータオルを設けること。 ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 イベント開催時における女子トイレの混雑に対応できるよう工夫すること。 	提案	提案	C	VS	DR	提案	提案	200	提案	提案	提案	提案	○	○	提案		
	1	多目的トイレ	施設利用者全般が利用できるトイレとする	<ul style="list-style-type: none"> 各階に2か所以上、トイレと隣接した場所に設置すること。 各階1か所以上はオストメイト対応とすること。 各階に1か所以上はおむつ交換や衣類の着脱時等に使用する折りたたみ式簡易ベッドを設置すること。 利用者を考慮した位置に設けること。 手洗いは、自動水栓とすること。 洋式便座は、擬音装置を備えた温水洗浄装置とすること。 オストメイトに対応した設備を設けること。 シャワー金具はサーモスタット付きとすること。 ベビーベッドを設けること。 エアータオルを設けること。 その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 	提案	提案	C	VS	DR	提案	提案	200	提案	提案	提案	提案	○	○	提案		
	1	エントランス1階	・通常時の一般利用者のための主とした1階のエントランス空間として使用する。	<ul style="list-style-type: none"> 大会時の選手、大会関係者、観客の動線を明確に区分できる計画とするとともに、大会利用と一般利用の平行時の各利用者動線に配慮すること。 大会時等の集中利用時においても安全性を維持できる広さとすること。 身体障害者、高齢者、車いす利用者等に配慮した計画とすること。 本施設を案内する電子案内板、およびイベントの状況等を掲示する電子掲示板を見やすい場所に設置すること。 明るく開放的な空間とし、休憩スペースとしても機能するよう、ベンチ、水飲み設備等を設置すること。 公衆電話の設置に向け関係機関と協議等を行うこと。 PR等を行う展示スペース(ショーケース)を設置すること。 	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	300	○	○	○	○	提案	提案	提案		
	2	エントランス2階	・大会時の観客のための主とした2階のエントランス空間(ホワイエ)として使用する。	<ul style="list-style-type: none"> 大会時の選手、大会関係者、観客の動線を明確に区分できる計画とするとともに、大会利用と一般利用の平行時の各利用者動線に配慮すること。 大会時等の集中利用時においても安全性を維持できる広さとすること。 身体障害者、高齢者、車いす利用者等に配慮した計画とすること。 大会時に受付や商品販売などができるスペースを確保すること。 	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	300	○	○	○	○	提案	提案	提案	
	1	キッズルーム	・乳幼児を同伴する施設利用者用として計画すること。	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児を安全に遊ばせられるスペースや遊具を整備すること。 事務室等から目の届きやすい場所に配置するとともに、外部からの見通しを確保すること。 授乳室等に近接すること。保護者が待機するスペースを適宜設けること。 	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気				機械			備考	
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排 水	給湯		洗面 器
	1	授乳室	・乳幼児を同伴する施設利用者用として計画すること。	・『埼玉県「赤ちゃんの駅」』の登録を行うこと。 ・同時に3人以上で使え、利用者のプライバシーに配慮した計画とすること。 ・おむつ交換台を設置すること。 ・流し台を1台設置すること。 ・キッズルームに近接すること。	3名	提案	C	VS	DR	提案	○	200	提案	提案	提案	○	○	○	提案	
観客 ゾーン	2,3	観客席	・大会時の観客席として使用する。	・固定席は3,000席以上とし、50mプールの長辺方向と平行に配置すること。 ・固定席のうち、1000席程度はベンチシートとすること。 ・座席1席あたりの幅は450mm以上、奥行きは450mm以上とすること。 ・客席前後の間隔は900mm程度とすること。 ・2列前の観客の頭越しにプールの端部が視認できる配置とすること。 ・観客席総数の0.5%以上を車いす対応とすること。 ・車いす使用者用客席は、2か所以上の異なる位置に分散して設け、観覧及び利用がしやすい位置とすること。 ・車いす使用者用客席は、少なくとも同時に2以上の車いすが利用できること。 ・車いす使用者用客席は、固定席位置に確保すること。 ・車いす使用者用客席は、床面又は手すり等に、車いす使用者用客席であることを表示すること。 ・車いす使用者用客席、一台につき間口90cm以上、奥行き120cm以上とする。 ・座席にはチケット表記のための番号、記号を取り付けること。 ・エントランス(2F)より入場可能な整備とすること。	3000席 以上	提案	C	提案	提案	提案	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	遮光
	2,3	観客用トイレ	・主に観客が利用するトイレとして計画すること。	・来場者の動線に配慮すること。 ・利用者数、観客数等を考慮した便器数・配置とすること。 ・男女トイレ内には各1か所ずつベビーベッドを設けること。 ・子ども用便座も適宜設置する等、子どもの利用に配慮すること。 ・その他、高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 ・手洗いは、自動水栓とすること。 ・小便器は、個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること。 ・洋式便座は、擬音装置を備えた温水洗浄装置とすること。 ・女性トイレには、パウダーコーナーを設けること。 ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 ・イベント開催時における女子トイレの混雑に対応できるよう工夫すること。	提案	提案	C	VS	DR	提案	提案	200	提案	提案	提案	提案	○	○	提案	
	2,3	観客用多目的 トイレ	・誰もが利用しやすいトイレとして計画すること。	・利用者を考慮した位置に設けること。 ・手洗いは、自動水栓とすること。 ・洋式便座は、擬音装置を備えた温水洗浄装置とすること。 ・オストメイトに対応した設備を設けること。 ・シャワー金具はサーモスタット付きとすること。 ・ベビーベッドを設けること。 ・エアータオルを設けること。 ・その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。	提案	提案	C	VS	DR	提案	提案	200	提案	提案	提案	提案	○	○	提案	
			休憩・自販機 コーナー	・適宜設置すること。 ・観客席から利用しやすい位置に設けること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案
エレ ベーター		エレベーター	・2基以上設置すること。 ・車いす使用者等が観客席等へ移動時に使用することを考慮した配置および仕様とすること。 ・中央監視室に運転監視盤・エレベーター用インターホンを設置すること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
その他		その他諸室	・給湯室を適宜計画すること。 ・職員更衣室や管理部門用倉庫等、必要と思われる諸室は適宜設けること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
		機械室、電気 室、発電機室 地下機械室(想定 面積・空調機械 室を含む)	・原則、屋内設置とする。 ・メンテナンスや将来的な更新等を踏まえて、十分なスペースを確保すること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	300	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
		自由提案事業諸 室	・自由提案事業関連諸室は適宜 計画すること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	

ゾーン	階	室名	室の使い方等	特記事項	想定面積 (㎡/室) 又は 利用者数	最低 天井高 (m)	建築					電気			機械				備考
							床 下地	床 仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 (LX) 以上	電話	TV	LAN	空調	給排 水	給湯	

<仕上げ凡例>

- ・床下地 C: コンクリートコテ押え、OA: OAフローア-H=100
- ・床仕上げ TC: カーペットタイル(ナイロン)、VS: 長尺塩ビシート、VT: ビニルタイル
- ・天井仕上げ DR: 岩綿吸音板、GD-B: 化粧石膏ボード
- ・壁仕上げ EP: エマルジョンペイント、EP-G: つや有エマルジョンペイント

※仕上げに関しては記載内容に対して同等以上とする。

※「提案」と記載のある項目は、導入可否も含め、提案項目とする。